【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【公表番号】特表2006-516699(P2006-516699A)
【公表日】平成18年7月6日(2006.7.6)
【年通号数】公開・登録公報2006-026
【出願番号】特願2006-503107(P2006-503107)
【国際特許分類】
Ｆ０１Ｎ　3/28　(2006.01)
Ｆ０１Ｎ　3/02　(2006.01)
Ｆ０１Ｎ　3/26　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０１Ｎ　3/28　３１１Ｑ
Ｆ０１Ｎ　3/02　３０１Ｚ
Ｆ０１Ｎ　3/28　３１１Ｎ
Ｆ０１Ｎ　3/26　ＺＡＢＡ

【手続補正書】
【提出日】平成19年1月24日(2007.1.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ファイバーを含む材料であって、汚染防止装置に使用するのに好適な前記材料を有する薄肉構造体、
前記薄肉構造体の少なくとも１つの主表面に接合されて、前記少なくとも１つの主表面を被覆し、かつ前記材料に浸透して、前記薄肉構造体に少なくとも機械的に接合している中間接着剤、および
前記薄肉構造体の反対側で前記中間接着剤に接合している感圧接着剤、
を有する、汚染防止装置において用いるためのシステム。
【請求項２】
前記システムが汚染防止装置の一部を断熱するのに好適な断熱体である、請求項１に記載のシステム。
【請求項３】
前記システムが汚染防止要素を装着するのに好適な装着マットである、請求項１に記載のシステム。
【請求項４】
前記材料が膨張性材料をさらに含む、請求項１に記載のシステム。
【請求項５】
前記システムが非膨張性システムである、請求項１に記載のシステム。
【請求項６】
前記中間接着剤が、熱活性化接着剤、ホットメルト接着剤、接着剤状熱可塑性材料またはこれらの組み合わせのうちの１または複数である、請求項１に記載のシステム。
【請求項７】
前記感圧接着剤が、前記感圧接着剤の間に挟まれているか、上部にあるフィルム、スクリム、織布または不織布で前記中間接着剤に接合している、請求項１に記載のシステム。

【請求項８】
請求項１～７のいずれかに記載の前記システムを有する、汚染防止装置。
【請求項９】
請求項８に記載の前記汚染防止装置を有する、内燃機関用排気システム。
【請求項１０】
請求項１～７のいずれかに記載のシステムを提供すること、
汚染防止装置のための筐体を提供すること、
感圧接着剤を用いて薄肉構造体を前記筐体の内側表面に接合することによって、システムを固定すること、
を含む、汚染防止装置の製造方法。